

小千谷市高梨の液状化被害調査（2004年10月27日）

稲葉一成（大学院自然科学研究科），早川嘉一（農学部）
中野俊郎（農学部），栗生田忠雄（農学部）

小千谷市高梨地区では，国道351号でマンホールの抜け上がり（写真 - 1）や，圃場で多数の噴砂を確認した（写真 - 2）。調査前にアジア航測の空中写真を見ていなかったため，空中写真で見られていた格子状のものについては，調査時には特に注意を払っていなかった。しかし，圃場整備前にあれだけ大きい区画があったことには疑問がある。土地改良区を通じて，圃場整備前の状況について確認することとした。

五辺地区の農道では多数の亀裂や段差を確認した（写真 - 3）。公民館周辺の圃場で列状の噴砂が見られたものの（写真 - 4），国道351号沿いのものと比較して，噴砂範囲は狭い（IKONOS衛星画像からも確認）。後日，噴砂が見られた圃場から土壌を採取し，粒度試験等を行う予定である。

文責：稲葉一成



写真 - 1



写真 - 2



写真 - 3



写真 - 4